

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	39	ご利用者の心身の状況に応じた外出支援があまりできておらず、季節も感じて頂ける機会も少ない。外出支援の必要性の認識が浅いかもしれない。	ご利用者個人の思いを伺い、馴染みの場所、思い出の場所等への外出を支援する。	ご利用者お一人おひとりの身だし機能を考えて、車椅子等も利用し、散歩、買物、美容院、ドライブにでかける。また施設行事としての、お花見、花火大会、夏祭り等にもいきたい。併設の施設との連携を深め、お互い協力して実行したい。	12ヶ月
2	36	緊急時の対応に不安がある。	全ての職員が、ご利用者の急変や事故発生時の初期対応、応急手当等の実践力を身につける。	これまで資料を使用しての研修は数回施行し、各個人に資料配布も行っていたが、今後実際にモデルを使って、初期対応、応急手当の方法を行って、理解を深めていく。またビデオを見てもらったりして、実践力を身につけていく。	6ヶ月
3	31	地域資源との協働に全職員が関わっていない。	管理者や特定の職員だけではなく、施設全体、職員が地域資源を把握し、協働に関わり支援する。	地域行事(旅行、祭り、運動会、学校行事等)に全職員が交替で参加して、地域の方々との交流を深め、地域密着型施設を理解し、協働によりご利用者の豊かな生活をより一層支援できるようにしたい。	12ヶ月
4	40	日によっては(人員不足)職員の決まり事を優先してしまい、ご利用者の希望にそった支援ができていない。	職員の人員に関わらず、職員の都合を優先せず、ご利用者のペースで希望にそった暮らしを支援する。	人員が少ない日でも、業務に捉われず、柔軟な対応(清掃、洗濯等の時間をずらしたり、とりやめる)をしたり、勤務シフトを変更して、ご利用者の日々の暮らしを希望にそって支援する。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。